

インバウンド関連事業 一覧

背景

- 医療現場における外国人患者受診が日常化し、医療アクセスの公平性の確保が課題化
※2025年の訪日外国人旅行者数は4,268万人、在留外国人数は396万人と過去最高を更新
- 「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」（令和8年1月23日外国人の受入れ・秩序ある共生社会実現に関する関係閣僚会議決定）
電話通訳及び多言語翻訳システムの利用促進、外国人患者受入れに関するマニュアルの周知、都道府県内の多様な関係者が連携し、地域固有の事情を共有・解決するための対策協議会の設置、地域の外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関における医療通訳者や医療コーディネーターの配置、院内の多言語化に係る支援等を通じ、外国人患者受入れ環境の整備を進る 等（施策番号257～261）

厚生労働省の取組

外国人患者受入における課題

□ 受入体制整備



□ 言語対応



□ 医療費不払い



□ 地域医療とのバランス

医療国際展開推進室における取組

医療機関の整備

□ 拠点となる医療機関の整備

- ・医療通訳者や外国人患者受入れ医療コーディネーターの配置支援、体制整備に資する情報発信

□ 各種マニュアルの作成

- ・医療機関向けマニュアル、診療価格算定マニュアル

□ 医療機関における連携強化

- ・外国人患者受入体制整備における伴走支援と自治体・医療機関間の連携体制の強化

□ 医療費の不払い発生防止

- ・一定額以上の不払いの経歴がある訪日外国人の情報を収集し、出入国在留管理庁へ提供。当該情報を次回入国における厳格な入国審査に活用。

□ 多言語の診療申込書等の公開

- ・診療申込書等53種類の資料を13カ国語により作成し、厚生労働省ホームページに掲載

□ 医療インバウンド目的の外国人患者への対応に関する検証・実証

- ・地域医療に配慮した、日本型医療インバウンドを確立・推進するための方策を取りまとめる

地域の受入体制強化

- ・団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進

- ・地方自治体向けマニュアル

□ 地域全体の受入体制整備支援

- ・夜間休日対応可能なワンストップ窓口の設置、希少言語に対応した遠隔医療通訳サービスの実施、都道府県の協議会設置を支援

□ 医療機関リストのとりまとめ

- ・外国人患者を受入れている医療機関のうち、都道府県が適格性があると判断した医療機関をリスト化

□ 外国人患者受入の実態調査

- ・外国人に対する医療提供体制の現状を把握するためのアンケート調査を実施